

5/31 朝日

紹介状なく大病院受診で5千円

患者数に変化なし

紹介状なしに大病院を受診した場合に5千円以上の定額負担を求める制度が2016年4月に導入された後も、紹介状なしで訪れる患者数に大きな変化がなかったことが30日、厚生労働省の調査で分かった。安易な受診を抑え、大病院が重症患者の治療に専念できる

ようにする狙いだったが、効果は限定的のようだ。

調査は昨年11～12月、200床以上ある850の病院を全国から無作為に抽出して郵送で実施。有効回答率は81・6%だった。

500床以上の病院では、定額負担導入前の15年10月にすべての初診患者のうち42・6%いた紹介なしの人は、導入後の16年10月に2・9%減の39・7%に。200床以上500床未満では60・3%が0・9%減の59・4%になった。

大きく減らなかつた理由は調査で明確になつていなが、55・5%の病院が「徴収する際に困つたことがあつた」と回答。その理由として「お金を払えば大病院を受診できると解釈している患者がいる」などをあげた。

(水戸部六美)